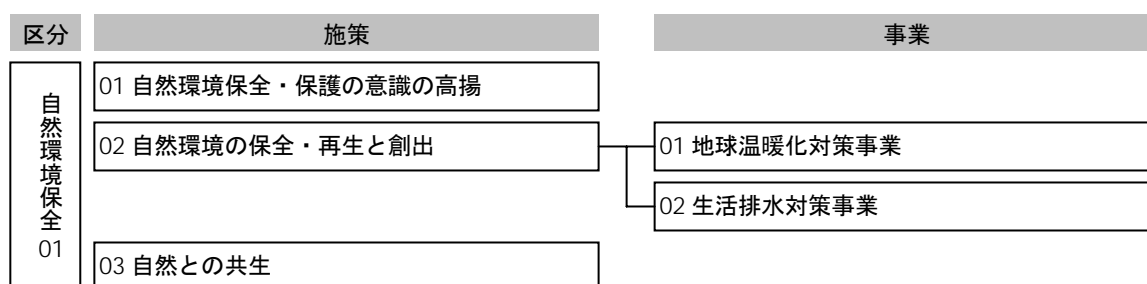


# 1 自然環境保全

## 施策の基本的考え方

- 自然を大切にする意識の高揚と自然保護活動を促進します。
- うるおいを感じる自然環境の保全・創出に努めます。
- 自然と人とが共生できる土地利用を推進します。

## 施策・事業の体系



## 02 自然環境の保全・再生と創出

■地球温暖化対策事業 【事業No.03010201】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

**事業概要**

- 市民・事業者・行政等が協働して、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を図る。

**現況と課題**

- 市においては、今年度、甲府市地球温暖化対策推進計画の見直しを実施、平成22年度のCO<sub>2</sub>排出量を、平成10年度比で10%削減を数値目標とする新甲府市地球温暖化対策推進計画\*を策定した。目標削減率の達成は、全国的にかなり厳しい状況である。

地球温暖化問題は地球上に生活するすべての人間の問題であり、その影響も地球規模であるが、その対応には、市民一人ひとりの地道な取り組みの積み重ねが不可欠であり、市民、事業者、NPO、行政などが協働して、足元から行動していくような施策を展開していく必要がある。

**今後の事業展開**

- 環境基本計画の推進と合わせ、次の事業を推進していく。
  - ・市民、事業者、NPO、行政の協働によるパートナーシップの構築（甲府市地球温暖化対策地域協議会の設置）
  - ・庁内においては、温室効果ガス排出量調査の結果を踏まえながら、環境保全庁内行動計画のさらなる推進を図る。
  - ・学校、幼稚園、保育所における、園児、児童への環境教育の充実を図る中で、推進していく。
  - ・市民、事業者における省資源、省エネルギー行動を促進するための情報発信や意識啓発に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
太陽光発電システム設置費 補助件数(件)	平成17年度 86	平成18年度 100	平成19年度 100	平成20年度 100	平成21年度 100	300
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	10,281		7,561	7,561	7,561	

■生活排水対策事業 【事業No.03010202】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			公害対策係		

**事業概要**

- 生活排水対策として、公共用水域等の水質改善を目指し、昭和35年から水質状況調査、水切り袋の配布、浄化槽の管理状況調査及び、浄化槽の設置補助等の市民への啓発を継続的に推進してきた。

**現況と課題**

- 継続的に実施してきた生活排水対策は、下水道の整備も進み公共用水域の水質の改善が見られるようになった。しかし、河川環境として、まだ十分に市民の望んでいるような状況ではない。

今後も富栄養化、自然及び水循環等も視野にいれ、総合的に推進していくことが必要である。

**課題**

- ①この事業は、長期に渡る推進が必要である。
- ②市民、事業者、NPO及び行政が一体となった取り組みが必要である。
- ③自然環境を考慮し、統合的に取り組んでいくことが大切である。

**今後の事業展開**

- 公共用水域の水質は改善傾向を示しているが、窒素及び、りん等による富栄養化物質の改善など、まだ十分満足のいく状況ではない。状況改善のためにも、計画的な生活排水対策が重要なポイントになっている。今後は、河川の流域ごとに計画を立てて、浄化槽の管理者への維持管理に対する啓発・指導を徹底し、成果が見える方法で生活排水対策事業を実施していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
環境基準値に対する達成率 (%)	平成17年度 63	平成18年度 80	平成19年度 100	平成20年度 100	平成21年度 100	100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	15,733		15,448	15,400	15,523	

## 2 公園・緑地緑化の推進

### 施策の基本的考え方

- 都市環境の改善や市民のレクリエーション需要に応える都市公園・河川敷緑地等の整備に努めます。
- 健康で文化的な市民生活のために、緑地の保全及び既設公園や動物園の充実に努めます。
- 公共施設及び地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努めます。
- 市街化区域内やその周辺に広がる農地の保全・活用を図り、緑地の保全に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
公園・緑地緑化の推進 02	01 公園・緑地の創出	
	02 公園・緑地の保全	
	03 緑化の推進	01 みどり豊かなまちづくり基金事業
	04 農地の保全・活用	

## 03 緑化の推進

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03020301】	担当部課係名	都市	公園緑地課	ダイヤル	223-6101
		建設部	公園緑地係		

**事業概要**

- みどりの織りなすゆとりあるまちづくりや花のあるまちづくりを推進することを目的とする。

**現況と課題**

- 花を供給することで、植栽、維持管理等を行っているが、自らが種をまいて育てていくところまでは、とても受け入れられない。

**今後の事業展開**

- 「みどり豊かな快適都市甲府」の実現に向け、自らのまちは、自らの手でつくるという意識の普及を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
花苗供給(鉢)数	81,372	104,500	105,000	105,000	105,000				315,000
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度				
	11,185		11,181	11,185	11,185				33,551

### 3 景観形成

#### 施策の基本的考え方

- 都市環境の美化を推進し、公共施設の美観の向上や広告物等の景観への調和に努めます。
- 魅力的な都市景観の誘導に努めます。
- 緑地や自然景観の保全に努めます。
- 市民参加による景観形成活動を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努めます。

#### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
景観形成 03	01 総合的な景観形成の推進	
	02 都市景観の形成	01 みどり豊かなまちづくり基金事業 <small>(再掲)</small>
	03 自然景観の保全・形成	
	04 市民参加の景観づくり	

## 02 都市景観の形成

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03030201←No.03020301】再掲	担当部課係名	都市 建設部	公園緑地課 公園緑地係	ダイヤル	223- 6101
---	--------	-----------	----------------	------	--------------

## 4 住宅・住環境・定住促進

### 施策の基本的考え方

- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 既設公営住宅の修繕及び建替えの計画的推進に努めます。
- 開発許可制度などにより、良好な居住環境の誘導に努めます。
- 融資制度や助成制度などの活用により、市内への定住に努めます。
- 住宅耐震化支援制度により建築物の安全性の確保に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
住宅・住環境・定住促進 04	01 まちなか居住の再生	01 紅梅地区市街地再開発事業 <small>(再掲)</small>
	02 公営住宅ストックの有効活用	
	03 良好な居住環境の誘導	
	04 市内への定住促進	01 家賃助成事業
	05 建築物の安全性の確保	01 木造住宅耐震化支援事業

03 まちなか居住の再生

■紅梅地区市街地再開発事業 【事業No.03040101←05010301】再掲	担当部課係名	都市 建設部	建築指導課 開発指導係	ダイヤル	237- 5829
---	--------	-----------	----------------	------	--------------

04 市内への定住促進

■家賃助成事業 【事業No.03040401】	担当部課係名	都市 建設部	住宅課 住宅係	ダイヤル	237- 5812
----------------------------	--------	-----------	------------	------	--------------

**事業概要**

- 入籍後1年以内で、市内の民間賃貸住宅に居住中の新婚世帯を対象に、3年を限度とし月額1万円の家賃助成を行う。  
(夫婦いずれも40歳未満、世帯収入500万円以下、市民税・家賃の滞納がないことが条件)

**現況と課題**

- 若年層の定住を促進するため、所得制限の緩和等制度利用拡大に努めてきた。
- 平成17年度に事業の実態把握のため受給者のアンケート調査を実施した。なお、平成18年度に外部評価委員会及び事業評価検討委員会から事業効果の再検証並びに制度の方向性の検討を指摘された。

**今後の事業展開**

- 助成期間満了世帯の市内在住状況調査並びにアンケート調査の検証を再度行い、本制度の事業効果を見極めるとともに、外部評価委員会及び事業評価検討委員会の意見を尊重し、制度の廃止または新たな制度の構築を視野に入れ、今後の方向性を決定していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
家賃助成新規助成件数 (件)	225	240	240	240	240	720
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	57,560		60,030	57,020	57,020	174,070



## 05 建築物の安全性の確保

■木造住宅耐震化支援事業 【事業No.03040501】	担当部課係名	都市	建築指導課	ダイヤル	237- 5828
		建設部	建築指導係		

### 事業概要

- 大規模地震による木造住宅の倒壊から、市民の生命及び財産等の保護と避難路及び緊急輸送路等の確保による災害規模の抑制を目的として、地震に強い安心で安全なまちづくりを推進する。

### 現況と課題

- 大規模地震の発生が懸念されており、建築物の耐震化率の向上が急がれている。本市においては、無料耐震診断から耐震改修費の補助までの一貫した支援体制が整った。しかし、耐震改修には多くの自己資金が必要となるなど耐震化率が伸び悩んでいる。今後、如何にして耐震化に対する重要性及び緊急性等の理解を求めていくかが課題である。

### 今後の事業展開

- 平成18年1月に建築物の耐震化率の向上を目的として「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が改正されたことにより、今後も広報「こうふ」等による広報活動を行っていくと共に、無料耐震診断の実施及び市民への出前講座等、市民の耐震に対する意識の啓発及び知識の普及に努め、耐震化事業を進めていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
診断戸数・改修戸数 (戸)	160・9	120・16	120・16	60・16	60・16				240・48
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度				
	11,400		13,200	9,000	9,000				31,200

## 5 上水道

### 施策の基本的考え方

- 健全財政の確立、効率化の推進、資産の効率的活用、情報化の推進に努めます。
- 施設整備・拡充、有効率の向上、経年施設の改良、地図情報管理システム\*の充実に努めます。
- 水源保護・水質保全の対策、水質管理体制の強化に努めます。
- 出水不良地域給水対策、災害対策、広域水道への対応に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
上水道 05	01 経営基盤の強化	
	02 維持管理体制の充実	
	03 水源保護と水質保全対策の推進	
	04 ライフラインの確保	

## 6 下水道

### 施策の基本的考え方

- 処理区域の拡大、施設の計画的整備に努めます。
- 汚水管渠及び雨水渠の維持管理体制の確立に努めます。
- 下水道のPRと未接続世帯の接続指導強化・促進に努めます。
- 経営の効率化の推進、施設の有効利用、使用料体系の確立、補助制度の拡充・促進に努めます。
- 災害時復旧体制の確立に努めます。
- 資源の回収・エネルギーの再生に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
下水道 06	01 下水道の整備	
	02 維持管理体制の確立	
	03 水洗化の促進	
	04 経営の効率化と健全化	
	05 ライフラインの確保	
	06 下水汚泥の有効利用	

## 7 河川・水路

### 施策の基本的考え方

- 一級河川の改修促進に努めます。
- 計画的な整備によって浸水や冠水の防止に努めます。
- 良好な水辺環境形成に向けた河川敷整備に努めます。
- 河川美化に向けた啓発に努めます。
- 水路等の機能確保と財産の適切な管理に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
河川・水路 07	01 河川の改修	01 一般河川改修事業
	02 浸水地域の解消	
	03 水辺空間の保全・整備	
	04 河川美化・浄化の推進	
	05 水路等の維持・管理	

## 02 河川の改修

■一般河川改修事業 【事業No.03070101】	担当部課係名	都市	道路河川課	ダイヤル	237- 5842
		建設部	河川係		

### 事業概要

- 住民生活にとって密接な関係にある住環境整備及び浸水・冠水対策として、普通河川・準用河川・生活関連水路の改修整備を行い利水・治水機能の向上を図る。

### 現況と課題

- 豪雨の際、1級河川への排水ができず浸水冠水が発生している。
- 河川改修を進めるにあたり住宅の密集により、河川断面拡張や工事施工が困難となっている。

### 今後の事業展開

- 県管理河川との連携を図り、河川用地問題等を克服するなかで、河川改修事業を推進する。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
改修実施率(%) (年度施工延長/年度目標延長)	49	100	100	100	100	100	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)	
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	73,754		90,191	88,801	88,801		267,793

## 8 循環型社会の構築

### 施策の基本的考え方

- 分別回収の推進とリサイクル化（再資源化）の推進を図ります。
- ごみ減量化の啓発活動と新たな回収システムの構築に努めます。
- 市民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。
- 次期ごみ処理施設の建設推進を図ります。
- 処理施設の適正管理に努めます。
- 収集体制の充実と処理施設の適正管理に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
循環型社会の構築 08	01 循環型社会の構築	01 環境リサイクルフェア事業
		02 ごみ減量と資源リサイクル事業
		03 明るくきれいなまちづくり基金事業
	02 ごみの減量化と発生抑制	01 環境リサイクルフェア事業（再掲）
		02 ごみ減量と資源リサイクル事業（再掲）
		03 明るくきれいなまちづくり基金事業（再掲）
	03 リサイクルプラザの活用	
	04 ごみ処理体制の整備	01 ごみ処理施設建設事業
	05 ごみ処理施設の管理・運営	
	06 し尿処理の適正な推進	

## 01 循環型社会の構築

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080101】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

### 事業概要

- 環境問題に関する各種の情報と環境問題について学べる機会を提供し、合わせて体験学習なども行い、環境問題に対する市民の理解と啓発を図る。
- 統一したテーマのもと、各参加団体が協力して各コーナーの企画運営を実施する。(子ども向けの企画を中心に、フリーマーケット\*、再生自転車・家具の抽選販売、企業による環境にやさしい製品の技術紹介など。)

### 現況と課題

- 第7回(平成16年度開催)において、市民団体、企業、学生などと協働して、企画内容の見直しを図ったところ、大幅な来場者の増加につながった。
- 第9回(平成18年度開催)は、昨年同様、児童・生徒に焦点を当て、環境問題に対する啓発を行った。
- 天候が悪かったにもかかわらず、多くの方に来場していただいた。市民の環境問題に対する意識が高いことがうかがえた。しかし、この施設自体、このように多くの人を集めてイベントを行うことを前提に作られていないため来場者用駐車場が不足しており、乗り合わせての来場をお願いするなどの対策を考えていく。

### 今後の事業展開

- リユース食器、エコ容器、グリーン電力など、新たな試みも数多く取り入れているが、今後もいろいろな面で環境問題をアピールしていく。
- 多くの市民に環境問題に対する理解と啓発を図ることができるため、今後も多くの市民に来場していただけるよう図っていく。
- 広報紙やマスメディアだけでなく、多くの情報手段を通じてイベントの広報を実施した。内容も、その情報媒体に合わせてアレンジするなどして、より効果的な広報活動を行った。今後も事前広報の重要性を認識したうえで、より効果的な広報を実施するよう図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
フェア参加者数 (人)	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	24,000
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
		1,000	1,000	1,000	1,000	3,000

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080102】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

**事業概要**

- ごみの排出抑制への取り組みと、より一層の分別排出の徹底

**現況と課題**

- 近年、ごみ処理量が増加する中で、ごみ減量化を目的とした「ごみ有料化」のあり方や、市民にとってより排出しやすい効率的な回収システムの構築を行っていく必要がある。また、廃棄物の発生抑制に向け拡大生産者責任の原則を明確化していく必要がある。

**今後の事業展開**

- 持続可能な資源循環型社会の構築に向けては、行政・市民・事業者が各々の責任と役割を果たす中で、円滑に廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化の促進可能な環境整備に努めることが大切である。その意味からも、ミックスペーパー回収事業や有価物・資源物回収事業などの実践的事业や「ごみ減らし隊」などの市民意識の向上を図るための啓発事業といった、ごみ減量化・資源化に向けた総合的な施策を実施している本事業は極めて必要性が高く、将来に渡ってより一層の拡大を図っていくことが必要であることから、費用対効果を検証する中で、市民にとってより排出し易い効率的な回収方法を構築していくとともに、分別品目を拡大していきながら、より一層のごみ減量と資源リサイクルの推進に努めていく。また、啓発、指導業務を更に充実強化する中で、市民意識及び事業者意識の向上を図っていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
ごみ減らし隊等の参加者人数 (人)	4,458	3,000	3,000	3,000	3,000	9,000	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)		計画額合計 (H19~21)		
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	332,421		327,442	327,442	327,442	982,326	

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080103】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

**事業概要**

- 甲府市リサイクル推進員連絡協議会と連携し、ごみ減量と資源リサイクルの推進を図る。

**現況と課題**

- 市民意識の向上により分別意識が定着してきているが、更なるごみ減量と資源リサイクルを推進するためには、リサイクル推進員と連携を図る中で、地域ぐるみの取り組みを確立する必要がある。

**今後の事業展開**

- より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、リサイクル推進協議会を通じ、分別排出の徹底・指導を行い、地域住民意識の高揚に努める。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
—	—	—	—	—	—	—	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)		計画額合計 (H19~21)		
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	5,100		5,200	5,200	5,200	15,600	



## 02 ごみの減量化と発生抑制

<b>■環境リサイクルフェア事業</b> <b>【事業No.03080201←03080101】再掲</b>	担当部課係名	環境部	環境保全課	タ イ ル イ ン	241-4312
			環境保全係		
<b>■ごみ減量と資源リサイクル事業</b> <b>【事業No.03080202←03080102】再掲</b>	担当部課係名	環境部	減量課	タ イ ル イ ン	241-4327
			減量係		
<b>■明るくきれいなまちづくり基金事業</b> <b>【事業No.03080203←03080103】再掲</b>	担当部課係名	環境部	減量課	タ イ ル イ ン	241-4327
			減量係		

## 04 ごみ処理体制の整備

<b>■ごみ処理施設建設事業</b> <b>【事業No.03080401】</b>	担当部課係名	環境部	処理計画課	タ イ ル イ ン	241-4318
			建設計画係		

### 事業概要

- 現施設の使用期限が平成26年度と迫っていることから、ごみ処理が滞ることのないよう新ごみ処理施設を建設する。

### 現況と課題

- 山梨県による最終処分場が併設される可能性があり、その場合本事業との関連性が高いため様々な点ですり合わせが必要となる。

### 今後の事業展開

- 甲府、笛吹、山梨、甲州の4市により設置された甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合が事業主体となって新ごみ処理施設の建設に取り組むものである。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	
—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)		
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	20,862		144,067	—	—	144,067		

## 9 環境保全

### 施策の基本的考え方

- 市民参加による河川清掃、不法投棄対策への取り組み等の環境美化活動の推進に努めます。
- 環境基本計画\*を推進し、地域からの地球環境保全や環境教育の充実、新エネルギー対策の推進に努めます。
- 特例市\*の権限を生かした、公害防止体制の充実や発生源監視体制の充実、苦情処理体制の充実に努めます。
- 環境衛生として、消毒機の貸出、飼い犬・野犬対策の指導・徹底に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
環境保全 09	01 環境美化	
	02 地球環境の保全	01 ごみ減量と資源リサイクル事業 (再掲)
	03 公害防止対策	
	04 快適環境の保全	

## 02 地球環境の保全

---

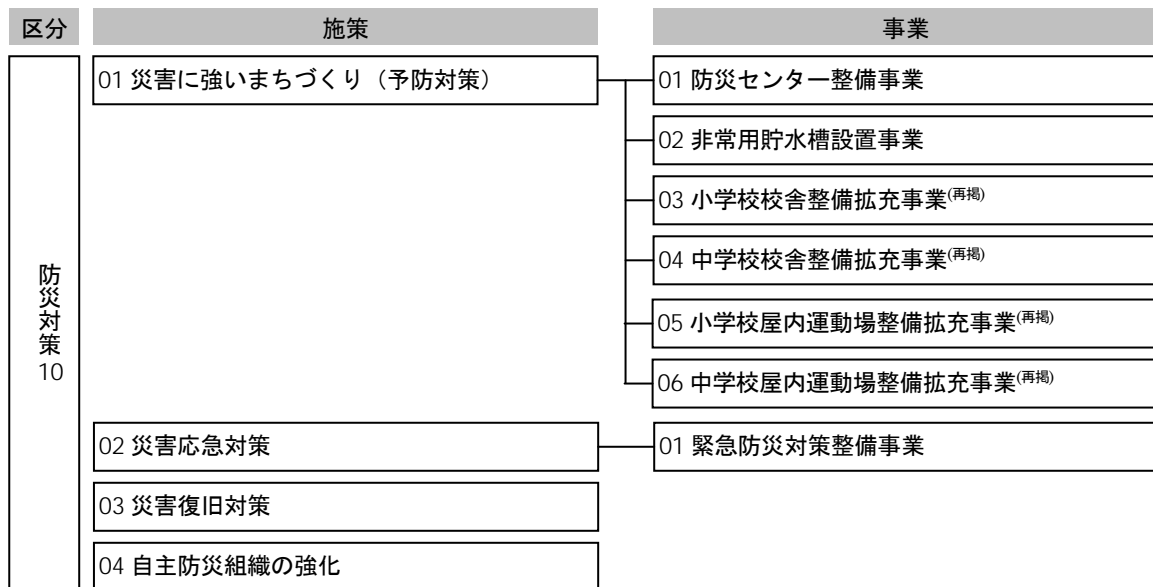
■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03090201←03080102】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241- 4327
			減量係		

# 10 防災対策

## 施策の基本的考え方

- 地域防災計画の充実、建物等の耐震化・不燃化の啓発促進、避難路・避難場所の確保、急傾斜地等危険地対策の推進、情報システムの充実、緊急医療体制の確立、防災倉庫の整備充実、非常用貯水槽の整備充実、災害ボランティアの育成に努めます。
- 応急物資の確保、通信手段の確保、迅速かつ適切な救助・救急、医療及び消火活動、ライフライン\*・交通施設等の応急復旧に努めます。
- ライフライン\*の復旧対策、被災者の自立支援に努めます。
- 自主防災組織\*の強化、防災意識の高揚に努めます。

## 施策・事業の体系



## 01 災害に強いまちづくり（予防対策）

■防災センター整備事業 【事業No.03100101】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤル	237-5331
			地域防災係		

### 事業概要

- 災害対策本部機能、防災行政用無線設備（デジタル無線に更新）、資機材等備蓄機能を有するとともに、平常時には、市民向け防災研修施設として活用できる防災センター\*を建設する。また、防災センター\*機能のひとつである防災行政無線設備を新甲府市エリア全域を放送圏域とするデジタル無線に更新する。

### 現況と課題

- 本庁舎の建て替え事業と密接に関連しており、防災センター\*事業単体では推進できない。
- 現在の防災行政用無線設備は設置後26年目を迎え、補助金上の耐用年数9年を大きく経過し、いつ重大な故障を起こしても不思議ではない状況にあるため、早期の更新が望まれる。（旧中道町、旧上九一色村の無線設備は共に平成2年に更新している。）

### 今後の事業展開

- 防災センター\*整備については、他都市の整備状況等を調査しながら、建設に向けて機能、規模等の調査・研究等を行う。
- また、防災行政用無線についても、デジタル化に向けて他都市の整備状況、整備後の問題点等の調査、並びにデジタル無線における技術的な問題も調査研究を行う。
- 防災情報システムのバックアップ体制の多重化を図る。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
—	—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	1,729		1,106	1,092	1,092	3,290	

■非常用貯水槽設置事業 【事業No.03100102】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤル	237-5331
			地域防災係		

### 事業概要

- 災害時における住民への飲料水の確保。

### 現況と課題

- 学校用地の形状、校舎の配置、進入路の位置により、貯水槽本体の搬入ができない学校があり、これについては校舎の耐震化事業に工程を合わせて搬入する方向で検討している。

### 今後の事業展開

- 災害時のライフラインの中でも重要な飲料水確保対策の根幹を成す設備として市民の関心も高く、計画達成に向けて着実に進めていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
貯水槽設置数(基)	1	1	1	1	1	3	
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	83,000		63,100	52,960	51,940	168,000	

■小学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100103←No.02010603】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862
■中学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100104←No.02010604】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862
■小学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100105←No.02010605】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862
■中学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100106←No.02010606】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課 建築係	ダイヤル	237-5862

## 02 災害応急対策

■緊急防災対策整備事業 【事業No.03100201】	担当部課係名	企画部	防災対策課 指導係	ダイヤル	237-5331
--------------------------------	--------	-----	--------------	------	----------

### 事業概要

- ①住民が行う初期消火活動に必要な消火栓器具格納箱を年次的に設置する。
- ②災害時における罹災者への食料等の確保。
- ③災害時の初動体制確立と地域防災力強化のため、避難所に整備すべき資機材の適正配置と充実を図る。

### 現況と課題

- 防災資機材の点検整備を定期的に行っているが、老朽化、破損等も増加し維持管理費等が増加している。
- 取扱い訓練等の機会を捉え老朽化、破損等の連絡を受けたものについて、改修及び交換をしているが、合併により、管理数量が増加したため、今後、さらに増加する。
- 中道地区の上水道の布設替えに伴い、地上式消火栓から地下式消火栓へ変更のため、消火栓器具格納箱及び器具の変更や補充が必要となる。

### 今後の事業展開

- 実施計画の着実かつ迅速な推進を図る。
- 消火栓器具格納箱の設置については、地域により温度差があるため、設置率の低い地区を主体に指導し、設置して行く。

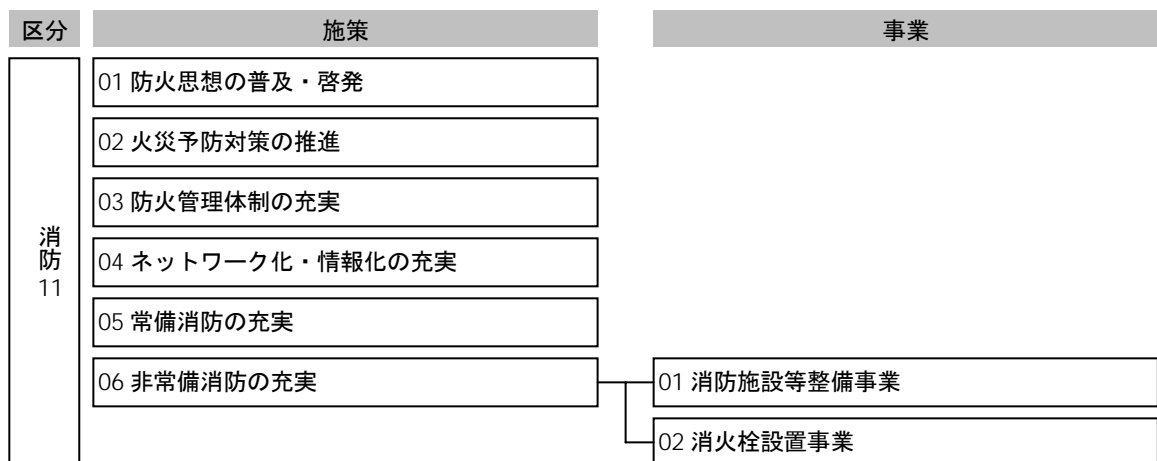
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
消火栓器具格納箱設置 (%)	51.2	52.5	53.5	54.4	55.4	55.4
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成 18 年度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
	31,046		24,775	24,000	26,000	

# 1 1 消防

## 施策の基本的考え方

- 火災予防に向け防火思想の啓発及び住宅火災予防対策として住宅用火災警報器等の設置推進に努めます。
- 予防・査察体制の強化、危険物等の安全指導の充実に努めます。
- 事業所などの防火管理体制の充実に向けた指導に努めます。
- 高機能消防指令センターを活用し、ネットワーク化・情報化の充実に努めます。
- 消防施設及び装備の強化に努めます。
- 消防団車両及び資機材の整備・充実、消防団員の確保と資質向上、耐震性消防水利施設の整備に努めます。

## 施策・事業の体系



06 非常備消防の充実

<b>■消防施設等整備事業</b> 【事業No.03110601】	担当部課係名	消防本部	警防課・人事課	ガイムン	222-1249
			警防係・消防団係		

**事業概要**

- 災害時に有効に活用できるよう整備し、市民の生命・身体及び財産を守り、被害を最小限に抑えることを目的とする。

**現況と課題**

- 合併により、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ各8台が増加したことから、さらに更新サイクルが長期化するため、更新台数を増加する必要がある。耐震性貯水槽については計画に基づいて設置しているが、設置場所の地質条件によるコストの変化、及び官地・市有地の確保が困難となっている。

**今後の事業展開**

- 各分団に配備してある小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新するとともに、常時良好に運用できるよう点検、整備を図る。耐震性貯水槽は、震災発生時には最も有効な水利であり、耐震性貯水槽を継続的に設置することにより市民生活等の安全確保もできるという観点から万全な体制が図られる。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
耐震性貯水槽設置率(%)	88.8	91.1	93.3	97.7	100		100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	59,889		42,011	55,844	41,844	139,699	

<b>■消火栓設置事業</b> 【事業No.03110602】	担当部課係名	消防本部	警防課	ガイムン	222-1269
			警防係		

**事業概要**

- 市街地及び周辺地域に消火栓を設置することにより、火災発生時における住民による初期消火活動が容易になる。また、消防隊の水利部署により有効な火災防御ができる。

**現況と課題**

- 市街地の拡大や新興住宅地の広がりにより、年間6栓の設置計画で対応するのが困難となっている。

**今後の事業展開**

- 公設消火栓の設置個数に対し、市民からの要望・陳情は増加しているため、市民生活の安全を確保するという観点から、事業の拡大が必要である。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		
当該年度の消火栓設置率(%)	100	100	100	100	100		100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	4,800		4,800	4,800	4,800	14,400	

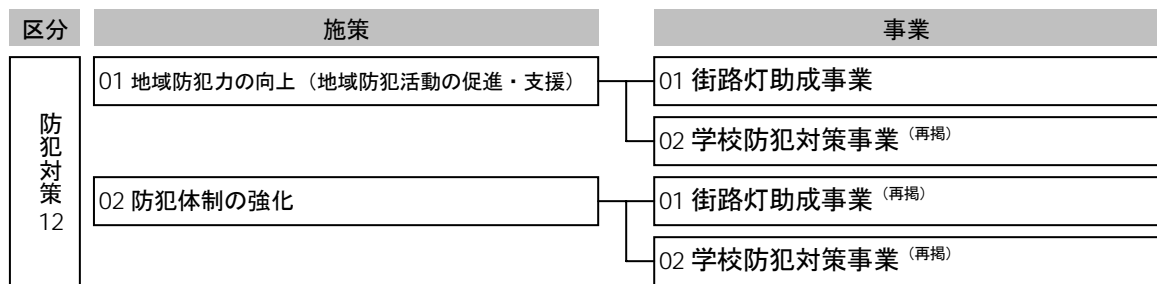


# 1 2 防犯対策

## 施策の基本的考え方

- 犯罪や非行のない明るい社会を築くために市民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、街路灯の経費助成を行うなど犯罪を誘発しない環境づくりに努めます。
- 関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

## 施策・事業の体系



01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）

■街路灯助成事業 【事業No.03120101】	担当部課係名	市民	市民対話課	ダイヤル	237- 5298
		生活部	地域振興係		

**事業概要**

- 防犯及び交通安全対策のために、自治会が設置する街路灯に要する経費の補助を行い、自治会負担の軽減を図ることにより、安全で明るい地域社会の形成に寄与する。

**現況と課題**

- 設置費の補助率（補助限度額）の引き上げと補助灯数の増加の要望がでている。

**今後の事業展開**

- 現行制度のまま引続き事業を実施していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H19~21)
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成19年度	平成20年度	
—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H19~21)	
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	43,577		44,604	43,265	43,265	131,134		

■学校防犯対策事業 【事業No.03120102←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223- 7322
			学事係		

02 防犯体制の強化

■街路灯助成事業 【事業No.03120201←No.03120101】再掲	担当部課係名	市民	市民対話課	ダイヤル	237- 5298
		生活部	地域振興係		

■学校防犯対策事業 【事業No.03120202←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223- 7322
			学事係		

# 1 3 消費生活

## 施策の基本的考え方

- 消費者が自主的合理的に行動できるよう消費者の自立支援に努めます。
- 消費者に対し、消費者教育の充実に努めます。
- 消費者相談の充実に努め、適切かつ迅速な処理を進めます。
- 消費者モニター制度\*の推進と正しい計量実施の確保に努めます。

## 施策・事業の体系

区分	施策	事業
消費生活 13	01 消費者利益の擁護及び増進	
	02 消費者教育の推進	
	03 消費者相談の充実	
	04 適正な商品取引の確保	

## 1 4 交通安全対策

### 施策の基本的考え方

- 関係機関との連携による交通安全意識の向上に努めます。
- カーブミラーなど各種交通安全施設の点検・整備、甲府市交通安全計画に基づく諸施策の推進に努めます。
- 交通災害共済への加入促進と交通事故相談体制の充実に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
交通安全対策 14	01 交通安全意識の向上	01 交通安全対策事業
	02 交通環境の整備・向上	01 交通安全施設整備事業 02 自転車対策事業
	03 交通事故被害者の救済	

## 01 交通安全意識の向上

■交通安全対策事業 【事業No.03140101】	担当部課係名	市民生活部	総務課	ダイヤル	237-5303
			交通安全係		

### 事業概要

- 正しい交通ルールと交通マナーと交通安全意識の高揚徹底を図る。

### 現況と課題

- 65歳以上の高齢者が犠牲となる交通事故が年々増加している。このような状況において、交通事故防止を強力に推進する必要があり、市民一人一人が思いやりをもって、命の尊さを認識し交通安全に真剣に取り組むよう、更なる交通安全思想の普及と認識の徹底を図ってゆく必要がある。また、カーブミラーの設置に伴う予算においても限りがあるため、設置申請から設置までの期間が長期化している。

### 今後の事業展開

- 山梨県、警察をはじめとする関係機関及び団体との連絡協議のもとに春、秋の全国交通安全運動をはじめ各種の交通事故防止事業等に参画するとともに、幼児、児童、小学校PTA及び高齢者を対象に交通安全教室を充実し、交通安全意識の高揚に努める。また、カーブミラー、自発光式交差点紙の交通安全施設の整備も図ってゆく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成19年度	平成20年度	平成21年度	
市内の交通事故発生件数 (件)	平成17年度 2,192	平成18年度 1,976	1,824	1,672	1,520	5,016
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	10,954		9,978	9,678	9,678	

02 交通環境の整備・向上

<b>交通安全施設整備事業</b> 【事業No.03140201】	担当部課係名	都市	道路河川課	タイム 237-5843
		建設部	道路係	

**事業概要**

- 市民の交通安全の確保や交通事故防止を目的に、交通安全施設の整備充実を図る。

**現況と課題**

- 交付金対象事業を主とするため事業対象の範囲が制限される。

**今後の事業展開**

- 市民生活における交通上の安全と快適性に貢献する事業として、交付金を活用し、交通安全担当や警察関係とも協議を行い、必要とされる交通安全施設設置を年次的に推進する。  
また、道路の新設・改良等により道路案内の設置・変更が必要な箇所に、案内標識の設置・改良を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
交通安全施設施工率(%) (年度施工件数/年度目標件数)	106	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	72,300		66,300	64,300	64,300	194,900

<b>自転車対策事業</b> 【事業No.03140202】	担当部課係名	市民	総務課	タイム 237-5303
		生活部	交通安全係	

**事業概要**

- 甲府駅周辺及び中心商店街の放置自転車を解消し、街の景観保全、通行者の交通障害解消を図る。

**現況と課題**

- 市民に対する駐輪マナーの徹底と美観保護に関する意識改革を図るとともに、市営駐輪場を整備して、放置自転車の動向実態も定期的に把握しつつ長期放置自転車の撤去を行う。また、新たな駐輪場確保についても関係機関と協議を進め、取り組む必要がある。

**今後の事業展開**

- 新都市拠点整備事業により、平成19年8月に屋内式2階建・収容台数550台程度の駐輪場が建設予定であるため、現在の駐輪場と合わせ駐輪場利用の促進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H19~21)
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
一日平均の 放置自転車の台数(台)	1,165	1,100	1,000	900	800	2,700
事業費 (千円)	6月補正後予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H19~21)
	平成18年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	4,638		4,594	4,456	4,456	13,506